

暮らしと保健福祉・看護「福祉用具が人生を変える」の感想

<p>車椅子を利用したら終わり、オムツを使い始めたら終わりといった考えの方がいた時に、今日習った多くの福祉用具を進めてあげたいと思いました。何歳になっても心から幸せを感じることができると感じ、それを提供する立場になりたいと思いました。</p> <p>ユメル君可愛いです！</p>
<p>大山先生も言っていたのですが、学校の授業では今まで学ばなかった視点で看護を学べたのでとてもためになりました。</p>
<p>排泄という扱いにくい話題を詳しく話してくれてありがとうございました。事例をたくさん出して話していただいてとてもわかりやすかったです。</p>
<p>支援を受ける立場でどう感じるかを具体的に考えることが出来てよかったです。</p>
<p>基礎看護技術論の授業で、体位変換などを行なっているけれど、全く動けない状態で患者役をしたことがないので、機会があれば体験したいと思いました。また、看護師が行う技術を身につけると同時に、患者の体験をすることが重要だと感じました。</p>
<p>介護ベッドや車いすから移動する際、抱えて立たせて座らせるという感じで、看護師が介助していた。しかし、福祉用具を使うことで自分ができることの幅を広げることができるので、すごく便利だなと思った。</p>
<p>事例を聞くことができたのがすごく勉強になりました。</p>
<p>事例を聞いて、ほんとに患者さんのことを観察することが大切だと感じました。また、ユメルくんという存在を初めて知って、ユメル君にはすごい力があるのだなと感じました。</p>
<p>今回の授業で、福祉用具を使う側の立場に立って選択したり、使用したりすることが大切だと学びました。ベッドを上げるときにも、患者さんには圧力がかかっていることを初めて学びました。今回学んだことを今後の技術習得の際に活かしていきたいと思います。</p>
<p>排泄について考えさせられた。自分が患者の立場に立って考えることにしかわからないこともあるんだと思った。</p>
<p>長谷川式認知症スケールの点数が少しの間で大幅に変化した話を聞いて、事前情報とは全く異なる動きを患者さんが見せたりしていて、点数だけでは患者さんのことはきちんと見れないなと思ったし、紹介状だけでなく、実際の患者さんの状況を見てアセスメントすることの大切さに気づきました。</p>
<p>初めて聞く内容ばかりでしたが、写真などを見てこんな用具があるのだと知りました。これからの看護にも繋がる大切なことなので、福祉についてもしっかり勉強することが大切だと思った。</p>
<p>事例を聞いて、看護師の仕事はとても責任の大きい仕事だなと改めて感じました。最近では、私たちが使う家電などもどんどん便利になっているので、このような技術が看護や、福祉の世界でももっと活かせるようになるといいなと思いました。</p>
<p>おむつやベットなど、看護師になっても多く使う福祉道具の一つをとっても正しい使い方を知らないと患者に不快感を与える原因になってしまうため正しい使い方を身につけることが大切だと学びました。</p>

<p>知らなかったことが沢山知れました。今日教えていただいたような大事なことは国が進めていくべきではないのかなとおもいました。これから利用者さんや患者さんに負担になるような援助を見かけたり指導されたら声をあげられるように更に勉強していきたいです。</p>
<p>福祉用具についてこんなに詳しく学んだのは初めてで、とても勉強になりました。</p>
<p>福祉用具についてまだ習っていないこともたくさんあったけど、現役の看護師さんでも知らない福祉用具がたくさんあることを知り、もっと沢山の福祉用具の知名度が上がればより良い支援ができるのではないかと思います。福祉用具について学ぶことが人の助けになることが学びました。</p>
<p>図や絵、事例の説明の際には沢山写真が資料にあってとても分かりやすく、今まで聞いた事のないお話が沢山あったので大変勉強になりました。</p>
<p>最初にお年を聞いた際とても驚きました。とてもいきいきとされていて、自分もそんなふうになくなって行きたいという目標も産まれました。祖母は施設に入所し、そのまま亡くなってしまいました。車椅子生活になってしまい最後を施設で過ごした祖母を思い出してもっと私に出来ることがあったのではと思います。まだ元気な祖父のためにも勉強をこれからしっかりして成長していきたいです。</p>
<p>福祉用具を使わずに移乗させる従来のやり方では自立支援と言いながらも、高齢者の自立を奪っていたということに驚きました。</p>
<p>高齢者の介助を行うにあたって、一人一人の要望が違うため、それらを更新して更新してよりよくしていく必要があると思いました。</p>
<p>ユメルちゃん初めて見ました！高齢者を支える素敵なロボットだと思いました！</p>
<p>今まで当たり前だと思っていた介護方法が多く点で苦痛を与えていたと知り驚きました。また今知れて良かったと思いました。自分がする時は少しでもそのような苦痛を感じさせないようにしたいと思います。</p>
<p>患者さんに合わせた様々な福祉用具がある事を知ることができました。またそれによって救われた人もいて、少人数でも役に立てる用具が販売中止にならないようになったらいいなと思いました。</p>
<p>男性はナプキンをつけた感覚がわからないのと同じように私たち若者は高齢者のおむつをつけた感覚がわかっていないことがよくわかりました。この講義の内容を生かして今後の授業に役立てていきたいです。</p>
<p>私にもおむつを着用しているおばあちゃんがいるので、こんな気持ちだったんだと心が痛んだ。おむつをしているから大丈夫ではなく、トイレに行って尿を排泄できるように協力してあげたいと思った。</p>
<p>長年看護師をした方でも福祉用具をうまく利用できていないことがたくさんあるんだと思いました。ベットからの車椅子の移乗は教科書で習ったものとは違っており、もし私が看護師になったら、より患者の自立度を高められるように積極的に福祉用具を活用したいと思いました。</p>
<p>初めて聞く内容などもあり、難しかった反面とても勉強になりました。排泄という一つの行為だけでもこれほどの苦労や気持ちの問題などもあり、看護の大変さを実感しました。</p>
<p>ここまで福祉用具の細かな説明を聞く機会が今まで無かったので、初めて聞く話ばかりでとても勉強になりました。</p>

<p>福祉用具の話聞くのは初めてで興味深いものばかりでした。前回の実習でリフティングボードを使った移乗を見たことがあったので、技術を学んだ今もう一度やってみたいなと思いました。患者さんが過ごしやすくなって欲しいと思うと同時に私たち看護師の負担も少しでも軽減されればいいなと思います。</p>
<p>患者さんのことを見ているようで、きちんと観察できていない看護師がいるのだなと驚きました。事例が福祉用具によって改善されているのを見て、その人に合ったその人だけの支援がどれだけ大切かが分かりました。</p>
<p>排泄だけで多くの道具があるのだなと思いました。また、事例を聞いて道具の大切さをとても感じました。</p>
<p>患者だけでなく看護師の健康のためにも道具というのは大切であるなと思いました。</p>
<p>患者の生活を支えるはずの介護用具も適切なものでなければ、患者の残存機能を奪ったり看護師の負担を増やしてしまったりする、という話を聞いて、今行われている看護が本当に適当なものなのかアセスメントすることが看護師には求められると実感した。</p>
<p>解決策はひとつではないという先生の強いメッセージが伝わり、頭を柔らかく考える力をつけるために沢山の知識をつけたいと思いました。</p>
<p>パットの当て方一つで生活環境がガラッと変わるのだと気づきました。</p>
<p>今回の講義を受けて、福祉用具に対する見方が変わりました。今までは、福祉用具は介護する人が楽になるようにあるものだと思っていましたが、利用される方の身体面や精神面にも良い影響があるのだということを学びました。しかし、まだまだ課題があるということで、私たちもそれを知っておかなければならないなと思いました。</p>
<p>コミュニケーションロボットを使って実際に高齢者のことを支えていることを知りました。もっと普及していけば、より良いなと思いました。</p>
<p>車椅子からベッドへの移乗を他の授業で実際にした時、看護師側も患者側もすごく大変だなと感じたので、今回の講義で移乗が楽になるシートがあると知り、すごく学びになった。</p>
<p>私が知らない福祉用具が多くあった。まだまだ知らない福祉用具があると思うし、看護師になった時に活用できると思うので調べてみたいと思う。</p>
<p>看護師の立場からできることを常に頭に置いて働こうと思いました。</p>
<p>大山先生の、患者の気持ちを理解するためにご自身で体験しようという姿勢がとても素晴らしいことだと思いました。どうしても自分基準で考えたり、無知な状態では理解できるものもできないのだと感じました。</p>
<p>車椅子の移乗のときのスライドやクッションなどのような福祉用具があるとは思っていませんでした。色々な福祉用具について学んでよりよい看護を行っていきたいです。</p>
<p>自立支援をする看護を身につけたいと思いました。</p>
<p>看護にはないけれど介護のための用具があることを知った。対象者から言葉で伝えられたことが全てではないこと、動くことができる自分にはわからないことなど自分が介助する立場になったら考えていけるようにしたいと思った。</p>
<p>車椅子の移乗で手すりなどを取り外してシートをしくことで苦痛を与えずに移乗できると知って、とても勉強になりました。</p>

<p>聞いた事のない話が大半で、今後の実習や演習でも活かすことができるお話しでとても興味深かったです。私は、腰痛を起こしやすいので、車椅子のスライディングボードがすごく助かる用具だと思いました。</p>
<p>初めて聞くことばかりでこんなものがあるんだと知ることができました。いろんな道具があってそれを工夫して使っていくことが大切なんだなと思いました。</p>
<p>診断結果と本人の状態に差があることもあるという経験談が印象に残っています。観察をしっかりすることの大切さを感じました。たくさんある補助具の中から一人ひとりにあった補助具を選択していくことが患者さんにとってすごく大切だと思います。</p>
<p>看護師はマニュアル通りに看護を行うが、それが逆効果であることもあり、実際に患者さん役を体験してみなければわからないことがたくさんあるんだなと感じました。</p>
<p>福祉用具について知らないことばかりだと思った。</p>
<p>知らなかったらただ使ってしまうようなベッドや車椅子も患者のことを考えてどうすればいちばん負担が少ないかを極限まで再現できるとしり、驚きました。</p>
<p>知らなかったらただ使ってしまうようなベッドや車椅子でも、それらがどのようなもので、どう使用したら高齢者の負担が少なくなるかを考えて使うと、全く別物になると学んだ。将来の医療従事者として患者の健康のために医療器具もひとつひとつ学ぶべきだと感じた。</p>
<p>私たちが今習っている看護技術も患者さんにとっては苦痛であるかもしれないということがわかった。患者さんの気持ちを全て理解することは不可能だが、なるべく理解して気持ちに寄り添わなければいけないと感じた。</p>
<p>授業内容を理解できました。ありがとうございました。</p>
<p>介護に使う用具は、様々あるが、時と場合に合わせて上手く使っていくことが介護をしていく上で大切だなと感じた。</p>
<p>存在は知っていても使い方を知らない道具、存在さえも知らない道具がありました。高齢化が進んでいるいま、介護者の負担を減らすためにもできるだけ新しい技術や道具を教えて欲しいと思いました。</p>
<p>排泄介助や移送する時にただ作業としてするのではなく患者さんに苦痛を与えないようにケアをしながらするということが大事だとわかった。</p>
<p>講義を通して患者の立場にならないと分からないことが多くあるのだなということに改めて気づかされました。これからの実習や講義で考えて行っていきたいと思います。</p>
<p>ベッドから車椅子への移乗でスライディングボードというものがあることを初めて知った。患者の自立を促し、看護師にも優しいもので、有効的だと思います。</p>
<p>高校までの私は看護師と介護士は全く別のものだと思っていたけれど、授業でチーム医療などを学んで看護師にも介護やその他の知識が必要なのだと知りました。看護師の勝手な判断が患者にとっての苦痛になること、福祉用具の選び方によって、自立支援をしないと出来ることが出来ないようにしていることがある現状を知り、福祉用具の知識の有無により、看護師としての支援の仕方が変わると感じました。</p>
<p>これまで習ってきた看護技術が全て正しいものだと思い込んでいた。患者がどう感じ、どんな看護を必要としているのか、これから看護を学んでいく中で再度考え直していきたいと感じた。</p>

<p>大学内にNPO福祉用具ネットという組織があるということを知りました。とても興味深いお話ばかり聞いて、大変勉強になりました。本日はどうもありがとうございました。</p>
<p>「排泄」というただ一つの生活行動だけでも、こちら側の配慮や支援によって患者さんを安楽にすることが出来ることを知りました。</p>
<p>福祉用具は患者のためにあるものだと思っていましたが、より良い看護や介護をするための支援者のためにもあるのだと思いました。自分たちは健康で動くことができるけれど患者は動けないという言葉が印象に残りました。機会があれば自分でも車椅子の移乗など体験したいです。</p>
<p>車いすの移乗を実技で習ったけれど、スライドシートだと患者本人だけでも少しずつ動くことができるということに驚きました。他にも知らないことや道具をたくさん知ることができたので楽しかったです。</p>
<p>私たち看護師が患者の自立を妨げているということに驚いたし、私たち次第で改善できる点があるのだと気づかされました。患者さんは自分で自由に動くことができないということを理解した上でどんな問題があるのか考えることが必要だと思いました。また、患者さんをきちんと観察することは本当に重要なことなのだと改めて感じました。引き継いだ内容も必ずしも正しいわけでもないのだと分かりました。</p>
<p>勉強してる時には分からない、現場にしかない現実を聞いて学ぶことが多かった。</p>
<p>排泄一つにしても高齢者の方の気持ちを十分に考えたりすることが看護者には必要なんだと感じました。</p>
<p>福祉用具について何も知らなかったのが、こんなものがあるのか！と驚きました。また、自分も看護技術論の授業で演習をした際に、友達を持ち上げただけで筋肉痛になってしまったことがあり、患者役をした子も私の動かし方が悪くて体に衝撃を感じたと話していました。福祉用具を使うことで患者さんにも不快な思いをさせることなく介助ができるため、活用していけたらいいな、と思います。</p>
<p>前に祖母が入院している病院にお見舞いに行った際にトイレに行きたいと言ってもおむつをしているからとトイレに行けず、嫌がっている様子の祖母を見たことがありました。もちろん、立ったり、歩いたり、することができず、トイレに行けない状況だからおむつをしているというのはわかっているけど、それが嫌だという不快感や不安感などを少しでも理解することが大切だと思いました。漏れてしまいそうという不安を少しでも軽減したり、蒸れたりなどの不快感を無くしたりするためにも患者さんの気持ちを一番に考えて看護、介護をおこなっていくことが大切だと感じました。</p>
<p>とても面白くて勉強になる講義でした。ベッドの操作時の気遣いや車椅子への移乗で利用するスライディングボード、ポータブルトイレなど初めて聞くような内容でわくわくしました。また、看護師として患者さんのことをよく観察し、寄り添うことの大切さも実際にあったエピソードを通して学びました。今後の実習、そして将来に向けて今回の講義内容を活かして頑張ります。ありがとうございました。</p>

<p>講義ありがとうございました。</p> <p>介助される側にしか分からないことが多くあるため、介助する側は実際に体験してみるとさらに良い援助へと繋がるといことが分かりました。</p> <p>全て抱えて援助をするのではなく、福祉用具を活用した援助方法もあるということで、さまざまな福祉用具について学習したいと思います。</p> <p>事例もまじえての講義でとても貴重なお話でした。</p>
<p>学校で習ったこと全てが全ての患者さんに適切な介護の仕方なのではなく、人それぞれの自立も考慮しながら、看護の仕方も変化させなければいけないと感じた。</p>
<p>支援の方法はひとつでは無い、一つの方法がダメだったからと言って諦める必要はないことを学びました。そのためにも自分の引き出しを多く持っているべきだと思いました。今している勉強をますますがんばりたいと思えました。</p>
<p>本日はありがとうございました。ノーリフティングケアは、私たち看護を提供する側を守るためでもあり、患者さんにより良い看護を提供するためでもあることを知りました。私も実際に現場に出してお仕事をするようになった時、また、仕事をする場を決める時などそういうところも含めて職場選びをしていきたいなと思いました。本日はありがとうございました。</p>
<p>看護のあり方について見直して行く必要があると思う内容でした。今学んでる看護技術も必要であると思うけど、現場に出たらもっと良い方法があると思うから、学校で習う方法だけにとらわれず様々な視点で見て、学んでいきたいです。</p>
<p>図や写真を沢山使って説明してくださったので、とても分かりやすかった。医療従事者への福祉用具の認知を広めることが寄り良い看護・介護の提供に繋がると思った。</p>
<p>めちゃめちゃ勉強になりました。次から看護学技術論の時に、患者さんはこんな気分なんだとわかるようになっていきたいです</p>
<p>介護度は同じでも一人一人に合った介護をして、なにごとにも変化しないものはないように高齢者の状態や生活も変わるのでその都度暮らしやすいように介護も変えていく必要があるのだと感じた。</p>
<p>排泄介護は大変かもしれないけれど、患者さんとためにも面倒くさがらずこまめにやって行くことがとても大切だとわかりました。私たちは少しの我慢だと思っていることも実際はとても苦痛や不快にかんじるばかりなんだとおもいました。</p>
<p>福祉用具について学べた。こっちがすべきと思っても相手にとってはキツく思ったりして感じ方が異なることが分かりました。</p>
<p>排尿ができないというのは本人のせいではないし、むしろ1番苦しいのはその人自身だと思うので、出来ないことが増えていく中でも尊厳を守りながら支援していくことが大切だと思いました。</p>
<p>福祉用具について知らないことがほとんどでとても勉強になりました。</p>
<p>福祉用具や適切な介護方法を知ることで患者さんの体感が大きく変わるということがわかりました。</p>

とても貴重なお話を聞く事ができて良かったです。事例を多く出してくださってとても分かりやすかったです。看護の実際を知る事ができたと思います。患者の状態をしっかりと観察できていないと、自殺未遂や全身あざだらけだった事に後で気づくなど、様々な問題が発生すると知り、患者の状態をしっかりと観察することの重要性を学ぶ事ができました。ありがとうございました。

生活の場となるベッドや車椅子、排尿ケアなど高齢者を支援していく上でその福祉用具等を深く理解する必要があると思った。また、それを使用する人にあった使い方ができるように工夫していく必要があると感じた。また、コミュニケーションロボットの存在を初めて知った。実習先などにより高齢者の方々は会話を楽しそうに行っているそのようなロボットがあると知ってとてもいいなと思った。

今回の講義で、患者さんの本音の部分まで看護師は考える必要があると思ったし、それが看護師の役割だと思った。また、福祉用具の現状として、新しいものがなかなか普及しておらず、医療従事者もその重要性や使い方などを知らないと言うことがわかった。私は看護職につきたいと思っているので学び続けることを意識していきたいと思った。

実際に体験した話や実写などが資料にあり、現実的に考えることができました。また、失敗談を聞くことは授業ではあまりないため、貴重でわかりやすかったです。

膝を怪我しているおばあちゃんの全身状態を確認せずに失敗してしまった話が心に残りました。高齢者は褥瘡ができやすく、認知症があれば自分の全身状況が把握できていないため、こまめな観察や、人の手では補えないところは福祉用具に頼るなどの工夫が必要だと学べました。今日はありがとうございました。

介護ベッドの角度や車椅子への移乗など今まで看護の授業で習ったものでは実際不十分であることを知ることができたのでとても良かったです。

私たちが今習っている看護技術だけでは補えないことまで教えていただいたので、本当にためになりました。将来働くときまで頭に入れておこうと思います。